

読者の声を受けて

当社では、CSR活動を一層充実させるため、社内外のステークホルダーの声を重視しています。2017年度レポートではアンケートに対して読者の皆様から計890件のご回答・ご意見を頂きました。皆様から寄せられたご意見・ご質問に真摯に応えられるよう、努めていきます。

Q 現場で活躍している人がどんな仕事をしているのか教えてください。

A 工事を管理する仕事を行っています。いわゆる“現場監督”です。安全に品質を確保し、期限を守って工事を進め、経済的に完成させることが大事となります。その全てを達成するには、工事の準備・計画を立て、その計画通りに工事を進めることが重要です。特に安全に関しては、作業員がルールを守り安全に作業できるような環境を整えるだけでなく、近隣の人や車に対する安全も配慮します。また、天気や周辺の状況のちょっとした変化で、現場の状況が変わるため、予算内で品質を確保した施工・現場に応じた人員や機械の配置・お金の管理等が重要となるので、とてもやりがいがある仕事です。それだけに、完成した道路が供用され車が走っているところを見たときの感動は一生忘れません。

本社工事部 石井 貴子



新名神高速道路神戸舗装工事

Q 海外事業についてどのようなことに取り組んでいるのか具体的に教えてください。

A 海外事業は自動車のテストコースプロジェクトとODA(政府開発援助)プロジェクトをメインに行っています。テストコースについては、当社の技術・品質・知識・経験が日系自動車メーカーを中心とするお客様に高く評価され、世界各地で建設工事、技術支援業務等を受注しています。ODAについては、アフリカ諸国を中心に道路整備事業に参画し、各国のインフラ整備に貢献しています。この二つの柱に加え、近年では事業収益のさらなる安定化を図るべく、製品(合材)事業への取り組みを強化しています。タイでは地元道路舗装会社に出資し、同国での再生アスファルト合材事業の展開を図っています。また、コンクリート舗装主体のミャンマーでは地元企業と合材工場(合併会社)を設立し、アスファルト舗装の普及を図っています。

海外支店 釣 敏和



ケニア、ナイロビ舗装工事



Q PFI(Private Finance Initiative)事業について詳しく教えてください。

A 当社は公共インフラの発注形態の変化に対応し、将来にわたり事業機会を獲得するために2006年にPFI推進部を設置しました。過去に教育文化施設1件、公務員宿舍4件、公営住宅1件、駅前複合施設1件のPFI事業^{※1}を落札し、建築・舗装土木事業の受注に資すると同時に、ノウハウを蓄積しております。日本政府は、2013~2022年度の10年間で21兆円のPPP^{※2}/PFI事業規模の達成を目標としており、コンセッション事業^{※3}等への取り組みが強化されております。以上を踏まえ、当社では従来取り組んできた公共施設の建設・維持管理等の獲得に加えて、空港、道路、上水道等のコンセッション事業への参画に向けて継続的に取り組んでいきます。

※1 民間の資金やノウハウ活用により、社会資本を整備し、より効率的な公共事業・公共サービスの早期提供を行う手法
 ※2 PPP(Public Private Partnership)は公民が連携して公共サービスを提供するスキームのこと。PFI事業のほかコンセッション事業や指定管理者制度等の事業手法を含む
 ※3 公共施設等運営権制度を活用したPFI事業(例:空港、有料道路等の民営化)

PFI推進部 相馬 直樹



東海財務局
公務員宿舍若水住宅および千種東住宅整備事業

Q NETIS技術について詳しく教えてください。

A NETIS(New Technology Information System:新技術情報活用システム)とは、民間企業などにより開発された新技術を共有し一般に公開するためのデータベースのことで、国土交通省によって運営管理されたシステムです。国土交通省は、品質・コスト・工期などの面で優れた技術を公開することにより、良質な社会資本の整備に寄与することを目的としています。一方、民間企業は国土交通省総合評価落札方式工事においてNETIS登録技術を適用することにより工事成績評価での加点評価の対象となります。2018年5月現在、国土交通省NETISのホームページには、当社関連技術が19工法掲載されており(1998年以降、累計42件の登録実績を保有)、今後も、新技術の開発とNETIS登録を進めてまいります。

技術企画室 武石 英人



エレファントヒータ(2018年4月NETIS登録)

Q リスクマネジメントについて詳しく知りたいです。

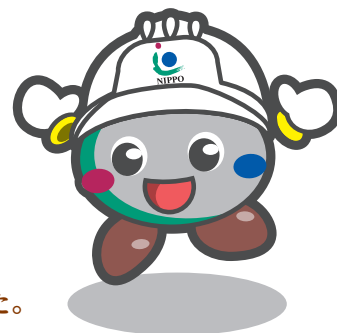
A 危機管理は企業にとって優先課題の一つです。当社においては、まず、法令違反等の事態が発生しないように、企業理念、行動指針の理解と意識の浸透に努めており、また、繰り返しコンプライアンスの重要性を全従事者に指導・教育し、違法状況が発生しないような体制づくりを推し進めています。事業活動を継続していく以上、特に現業事業所で問題が発生する可能性は高いですが、常々、報告、連絡、相談の徹底と事業所内、部署間、部門間での円滑なコミュニケーション、風通しのよい職場づくりの醸成を図っています。万が一、重大な事態が発生してしまった場合には、直ちに情報が本社まで到達するよう、迅速かつ最善の対応を実行するための管理体制を整備しています。全従事者への理解の浸透と啓発に継続して努力しています。

総務部 斉藤 直志





読者の声を受けて 「私のCSR」ページ



「私のCSR」コーナーには、毎年たくさんの共感と激励のメッセージを
いただいています。今年も多くの従業員に日常の取り組みを投稿してもらいました。



北信越支店 井田 文博

私は支店で営業に従事しています。当支店では車の移動が長時間に及ぶことが多く、日常から出発時間を早めることによって、1時間毎に休憩しても遅刻することなく到着できるよう余裕を持った運転を心掛けています。また冬場の雪道運転では、普段の2倍以上の車間距離、エンジンブレーキの活用など運転テクニックの向上にも努め、安全運転の意識を高めていきたいと思っています。



中国支店 横山 実玲

私が所属する試験所では、合材工場を含めた試験機や測定器の定期的な校正や、使用前の作動確認を徹底しています。なぜなら、精密な試験機や測定器は使用頻度や経年変化等により機械的誤差が生じることがあるからです。測定結果に信頼性を持たせることで、お客様へ常に確かな品質の製品を提供できるように日々業務に取り組んでいます。



本社営業部 富野 頌平

私は、民間得意先への営業に従事しております。お客様に満足いただける当社製品をご提供するため、社内外における情報収集、共有化を日々心掛けて営業活動しております。得意先は常に品質の保証を求めており、その要求事項を満足する製品をご提供し、当社の企業としての社会的責任に貢献できるよう今後も努めたいと考えます。



東北支店 植田 雅之

工事の現場では、事故につながる危険な行為は見逃さない、見つけたときはその場で声を出して止めさせることが事故を防ぐために重要だとよく言われます。

未然にリスクを防ぐために部門に限らず、コンプライアンスについても違反行為は見逃さない、見つけたら止めさせるという心構えで業務に臨みたいと思います。



環境安全・品質保証部 岩瀬 哲

4月に環境安全・品質保証部に赴任したのですが、所属する部署名に「環境」とつくので環境に優しいことをしてみようと思い、マイカップを会社に持参することにしました。また当部としても社内資料の作成に当たっては裏紙を使用するなどして環境負荷を低減するように努めています。皆さんも身近なことから何かできることを始めてみませんか？